



## へボノ木遺跡

久留米インターチェンジの南西一帯に広がっています。古くは縄文時代や弥生時代の生活跡も発見されていますが、中心となるのは奈良～平安時代にかけての建物群跡です。

役人が身に着けたベルトの飾り、文字の書かれた土器や多数の瓦などが見つかっており、役所か寺院の跡ではないかと言われています。



▲へボノ木遺跡から出土した土器（香炉）

## 朝妻焼窯跡

江戸時代の正徳4年（1714）、現在の久留米大学御井学舎西側の丘陵に、6代藩主有馬則維の命を受けて開かれました。

有田や伊万里から陶工や絵師を招き、磁石は天草から運んで、肥前の焼き物に負けない品質の製品を生産していましたが、わずか十数年で窯を閉じてしまいました。



▲朝妻焼窯跡の調査の様子

## 福聚寺古墳群

高良山から北西に延びる丘陵上に造られた古墳群です。平成16年度の調査で、四角い形をした方墳が2基発見されました。どちらも4世紀頃に造られたと考えられています。石棺からは、合わせて3体分の人骨や鉄・青銅製の剣や鏃が出土しています。福聚寺裏山には江戸時代に発掘された様子を記した記念碑が残っており、内側を朱で塗った石棺の中から遺体が発見されたと伝えられています。



▲福聚寺古墳群の石棺

## 合川校区の文化財

No.	遺跡の名前	遺跡の時代	こんな遺跡です
1	いちのうすきたやしき 市ノ上北屋敷遺跡	縄文～弥生	縄文中期に瀬戸内で作られていた「船元式土器」が出土。
2	いちのうすにしやしき 市ノ上西屋敷遺跡	弥生～江戸	弥生の墓から銅鏡が出土。
3	いちのうす 市ノ上遺跡	弥生・奈良・平安	市ノ上台地上で広く弥生土器などを発見。
4	ふるこう 古宮遺跡	弥生・古墳	弥生後期～古墳初頭の大きな集落。
5	おおばやし 大林遺跡	弥生・古墳	大林遺跡と同一の集落跡。
6	ひがし 東遺跡	平安・中世	土師器などが散布。
7	みくらその 御蔵園遺跡	弥生	竪穴住居、溝などを発見。
8	ふくじゅうじ 福聚寺古墳群	古墳・江戸	4世紀頃の方墳を2基発見。
9	あさづま やきかま 朝妻焼窯跡	江戸	1714年、久留米藩が開いた窯跡。
10	なかごう 中郷遺跡	弥生	甕棺墓・石蓋土壙墓を発見。
11	あけ 上遺跡	縄文・中世	縄文時代の土器・石器が出土。
12	あさづま 朝妻遺跡	縄文・弥生	縄文土器、弥生時代の集落跡。
13	みずあらい 水洗遺跡	縄文～平安	縄文土器、奈良時代の集落跡。
14	へボノ木遺跡	縄文～中世	奈良・平安時代の役所か寺院の跡。
15	みどうし 御堂島遺跡	奈良～平安	奈良・平安時代の集落跡。
16	にししょうじ 西小路遺跡	縄文・弥生	縄文時代後期頃の祭祀に使われた石冠・石棒を発見。
17	したみ 下見遺跡	奈良～近世	御堂島遺跡と一連の集落跡。
18	かみせんこうじ 上千合寺遺跡	弥生	甕棺墓を発見。
19	しんぶ 新府遺跡	縄文・弥生	弥生時代の小銅鐸の鋳型が出土。
20	にし 西遺跡	縄文・弥生	縄文土器、弥生時代の住居を発見。
21	ガラシ遺跡	中世	鎌倉時代の墓地。

## 指定されている文化財

A	じゅういちめんかんのんぼんざつちようそういじび 十一面観音菩薩彫像板碑	中世	旧有馬別邸内にある板碑。
B	いちのうすひがやしき 市ノ上東屋敷遺跡	縄文～近世	古墳時代の豪族居宅跡。
C	あきこく 筑後国府跡	飛鳥～平安	奈良・平安時代の役所跡。
D	ふくじゅうじ 福聚寺の指定文化財	江戸	古文書、工芸品は県・市指定。
E	あけ舟	現代	洪水の時の避難用の舟です。
F	くさめがすり 久留米蒟いざり機	近世	久留米蒟の機械で、古い型式をとどめています。